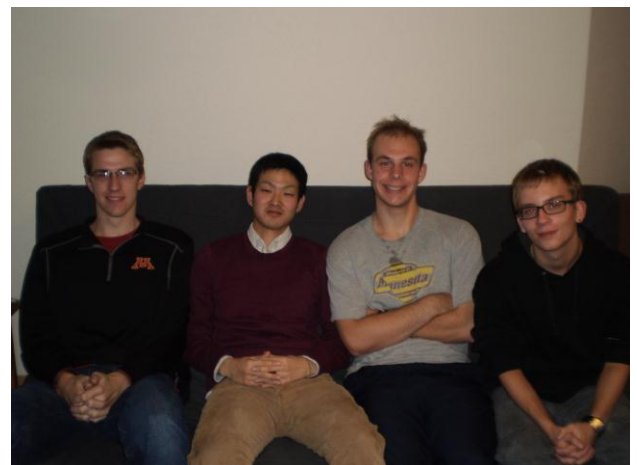


広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26 年 5 月 19 日			
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ミネソタ大学 (国名:アメリカ)			
所属学部・学科等名	College of Liberal Arts			
在籍身分	Student Non-degree			
留学期間	平成 25 年 8 月 27 日 ~ 平成 26 年 5 月 17 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 米領事館(大阪)			
	取得方法, 提出書類: パスポート、写真、DS-2019、財政証明			
	手続きに要した日数: 約 1 週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 25 年 8 月 23 日			
経路	名古屋~東京~サンフランシスコ~ミネアポリス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	交換留学生用のオリエンテーションがある(生活や授業登録についての基本的なアドバイス)。			
帰国年月日	平成 26 年 7 月 23 日			
経路	ミネアポリス~サンフランシスコ~東京~名古屋			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1,400,000	円	
	内訳	渡航費	220,000	円
		保険料	280,000	円
		教科書代(学費)	50,000	円
		宿舍費	700,000	円
		食費	100,000	円
		その他 (交際 費)	50,000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
2013 年 秋学期	9 月 3 日	~	12 月 19 日	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと		
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
日本人キリスト教徒の方たちが無償でボランティアしている活動(Japanese Student Connection: JSC)で毎月1回ずつパーティーと大きなスーパーに連れて行ってくれる機会がある。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	アメリカ国内の大学院に進学予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	渡米前に特別研究(卒業論文)を除く、卒業に必要な全ての単位を修得した。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		



学習の概要に関するレポート

ミネソタ大学留学の目標は英語力の向上でした。渡米前はなぜ留学してまで英語力を上達させる必要があるのかという問いからはじまり、英語力をどこまで伸ばしたいのかという目標を設定し、そこに辿り着くためには何をしなければならないのかと自己解析をするところから始めました。渡米後は渡米前に設定した「長期目標」「中期目標」「短期目標」をクリアすることを目標に日々の生活に励みました。

2学期合わせて10クラス(34単位)を履修したこともあり、毎日図書館や教授のオフィスに通い詰めました。その他にも、Student Writing Support や Student English Language Support などの留学生を支援する設備が完備されているので、それらにも定期的に通いました。オフィスアワーや留学生支援設備の利用は無料で最大のメリットはFace to face であることです。実際私は週に約3回予約を取って積極的に教授やアドバイザーと交流し、単純に授業のフォローアップとしてだけでなく、彼らと英語で議論する場としてそれらのプログラムを活用しました。

2学期間の交換留学生生活を終えた今、最大の目標であった英語力の向上を達成できたかどうか振り返ってみると、自信を持って首を縦に振ることはできません。矛盾するようですが、確かに英語力は自分でも実感できるほど向上しました。ただし、残念ながら渡米前に設定した目標には届きませんでした。留学する各々の学生が各々異なる目標を持っていますが、英語力の向上はどの学生にも共通する目標であると思います。留学中、渡米前に設定した時期毎の目標は大きな壁として立ちはだかることになりましたが、結果として現在の自分と理想の自分との距離感を明確にすることができたので総じて良かったと思います。留学を考えている皆さんにお勧めします。

先週、ミネソタ大学での交換留学プログラムを終え、5月中旬から7月下旬まで International Institute of Minnesota という移民難民施設で約2ヶ月間インターンすることになりました。業務は第二次世界大戦以降ミネソタ州に移住した日系アメリカ人の調査、並びに難民向けの英語のクラスのTAをします。VISAの延長手続き等大変苦労しましたが、多くの人たちから支援があり、無事に手続きを完了しました(交換留学生でVISAを延長する学生は稀なようで、大学関係者の方々から大変驚かれました)。また、この夏はインターンの他に、アメリカ国内の大学院進学に向け大学院の情報をはじめ、推薦書やエッセイ、TOEFL、GREの準備に本格的に取り組みます。

最後に、自分に合った留学生活スタイルを確立することが最も重要です。私のように図書館に通い詰め座学を基本とした留学スタイルもあれば、国際交流イベントやボランティア活動を基本とした留学スタイルもあります。早い段階で自分に合った留学生活スタイルを確立することが大切であるということを留学を希望する皆さんに向けたメッセージとして「学習に関する概要のレポート」を終えます。



生活の概要に関するレポート

まずはじめに、アメリカ留学を希望する皆さんの多くが経済面に関して不安を抱えていると思うので、先に結論から申し上げますと、アメリカ留学は想像以上に家計を圧迫することになります。もちろん、各々の生活レベルによってそう思う人と思わない人に分かれていますが、私は毎月奨学金が給付され、尚且つ広島大学の授業料全額免除にも関わらず強くそう思いました。以下述べることは個人の体験談として受け取っていただけたら幸いです。

そもそも交換留学は留学先での授業料が「無料」であると誤解されがちですが、広島大学に納める授業料と交換するので必ずしも無料であるとは言えません。また、留学費用は主に渡米前と渡米後に分けることができますが、渡米前は往復航空券やVISA申請(交通費込)、保険(日本)を含め約35万円掛かりました。また、渡米後は授業料(広島大学授業料)や宿泊費、保険(アメリカ)、生活費を含め、約150万円掛かりました。つまり、留学総費用は渡米前と渡米後を合わせておよそ185万円掛かることとなります。幸いにも自分は奨学金と授業料免除のおかげで、大幅に留学経費を削減することができましたが、アジアへの留学費用と比較してわかるように、アメリカ留学は決して安くはありません。

それでは、留学先での生活について報告します。University Village というアパートにルームメイト3人で暮らしました。経済的に一番負担の掛からない2ルーム・2ベッドルームに渡米前に予め決め、ベッドルームはもちろん、トイレやシャワー等もシェアでした。個室がないのでプライベートな時間が欲しい人には勧めません。

ルームメイトは全員白人系アメリカ人の学部2年生で、一昨年まで違うアパートと一緒に住んでいましたが、昨年から自分と同じ時期に引っ越してきました。彼らは本当によく勉強します。家にいる間はほとんど机に向かって何かしらの作業に取り組んでいました。また、朝は6時に起床、夜は11時に就寝という完全に朝方タイプのルームメイトでした。私は適応能力だけは自信があったので、彼らの生活スタイルに順応するまでにそれほど時間はかかりませんでした。また彼らは勉強だけではなく、運動も万能に熟し、「これがアメリカなのか」と度肝を抜かれたことを覚えています。後々わかったことですが、彼らは学部・学科の中で上位の優秀学生で、奨学金や経済支援を受けているとのことでした。彼らの学問に対する姿勢は常に自分に良い刺激を与えてくれました。

また彼らは実家からテレビや音楽機器、ソファ、食器、調理器具などのありとあらゆる生活用品を持参し、またそれらを無料で使わせてくれました。交換留学生である自分にとって、生活用品を買う必要がなかったことは本当にラッキーでした。ルームメイトたちとは週末に家でボードゲームや映画鑑賞をしたり、外食に行ったりなどして非常に有意義な時間を過ごせました。彼らには本当に感謝してもしきれません。

交換留学プログラムを終えましたが、2ヶ月ミネソタに残り、インターンや大学院進学の準備をします(詳しくは「学習の概要に関するレポート」を参照)。現在は、アパートを引っ越し、前学期に中国語の授業を一緒に履修したアメリカ人の友達の家に住んでいます。友達と友達のお母さんの2人暮らしで、自分のことを快く受け入れてくれ、それだけでなく、滞在費や食費も負担してくれています。そのため私はこの2ヶ月間一切の生活費を支払っていません。私は座学を基本とした留学生活スタイル(詳しくは「学習の概要に関するレポート」を参照)で尚且つ内向的であったので、あまり多くの友人はできませんでした。ルームメイトやホストファミリーをはじめ、本当に親身になって自分をサポートしてくれる人たちに出会えて、つくづく自分は恵まれているなど実感します。アメリカに留学できて、ミネソタ大学に留学できて、そして素敵な人たちに出会えて本当に幸せです。